

2 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

(実習担当者：角田 新)

実施日時と内容

8月21日(月)	9:30~10:00	開講あいさつ・オリエンテーション
	10:00~11:00	館長講話
	11:00~12:00	講座①「美術館と学芸活動」
	13:00~13:30	見学①館内
	13:30~14:30	見学②「所蔵作品展」
	14:30~15:30	講座②「総務(全般・予算・広報)・施設管理について」
	15:30~16:00	広報企画実習①(課題説明)
8月22日(火)	9:30~10:30	講座③「対話型鑑賞」(講義と実践)
	10:30~11:30	見学③「魔法の美術館」展
	11:30~12:00	ギャラリートーク実習①(概論)
	13:00~16:00	ギャラリートーク実習②(企画立案)
8月23日(水)	9:30~10:30	講座④「美術館の展示環境・展示手法」
	10:30~12:00	広報企画実習②(発表・ディスカッション)
	13:00~14:00	作品取扱い実習・調書作成①(日本洋画)
	14:00~15:00	作品取扱い実習・調書作成②(日本画)
	15:00~16:00	ギャラリートーク実習③(集約)
8月24日(木)	9:30~10:30	作品取扱い実習・調書作成③(工芸)
	10:30~12:00	ギャラリートーク実習④(集約)
	13:00~16:00	ギャラリートーク実習⑤(制作)
8月25日(金)	9:30~12:00	ギャラリートーク実習⑥(発表準備)
	13:00~14:30	ギャラリートーク実習⑦(発表)
	14:30~15:00	受講生ディスカッション
	15:00~16:00	振り返り

受講生所属大学

京都芸術大学、女子美術大学、東京大学、比治山大学、広島大学、広島女学院大学、広島市立大学、安田女子大学(8大学、計16名)

広報企画実習

大学生をターゲットとして、当館所蔵作品展の広報企画立案を行った。初日にワークシートを配布し、まずは各自で企画案を考えてくることを課題とした。2日目は4班に分かれディスカッションし、受講者は各々の案を他の班員と共有し、ブラッシュアップしたのち一つの企画とし班ごとに発表を行った。平和学習とのコラボレーション、交通広告の活用や、学校図書館へ図録を預けるサブスクリプション

ン、キャンパスメンバーズ制度そのものの広告をSNSで拡散するなど、多彩な企画案が提示された。

ワークショップ実習

メインカリキュラムでは、「当館で開催するにふさわしいワークショップ」を企画することとし、その際、どのような視点から当該ワークショップを企画するのか、美術館や美術文化、あるいは地域といった枠組みも含め、なぜ、どのような目的で、そのワークショップを開催するのかを明確に意識しながら企画を立案することとし、模擬的なワークショップを設計した。受講生は4班に分かれ、グループワークにより、各班で趣旨・目的、ターゲット、実施意義、等に応じたワークショップ内容、ワークショップ全体のテーマを決定。自身が注目した切り口を出発点としながら、調査や準備を通じてワークショップへの理解を深め、さらに参加者目線に立った実施内容を検討することで、学芸員の仕事を追体験した。各班のテーマ、対象者、内容は次の通り。

①	この夏、県美のHey!ワークに参加した（対象：小学生～大学生） ワークショップ参加者に、ギャラリートークで当館の所蔵する戦前の広島を描いた作品について学習し、合わせてその時代に撮影された写真を鑑賞し、自由に意見交換を行う。その後、参加者独自のオリジナルグッズを作成することで、郷土の歴史と文化にリンクした美術を体験してもらう。
②	草木染でミサンガを紡ごう(対象：子どもから大人まで(5歳以下は保護者同伴)) 自然の素材で糸染めから染織を体験し、広島県立美術館所蔵の染織作品・ひいては染織以外の美術に対しても理解を広げ、興味を深めてもらう。
③	広島原風景-瀬戸内を美術で味わう(対象：一般(美術に関心の薄い人)) ワークショップ参加者は、所蔵作品展のギャラリートークに参加し、出品作品に因んだ皿を制作。後日、自作の皿を使用した食事に参加することで、参加者に対して美術に対する興味の糸口を提供する。
④	パラパラ漫画を創ろう ～絵画の中の世界をゾートロープを使って考えてみよう～(対象：小学生) 当館で鑑賞した絵画作品等を題材とし、ゾートロープの一コマとすることで、作品に描かれた状況の前後の世界を創造し、参加者に美術作品の鑑賞体験を深めることにつながるような、新しい鑑賞体験を提供する。